

7月27日(土) 会場：一条ホール／アネックス

9:00~10:10

一般演題5

「線維化」

座長：富谷 智明 (埼玉医科大学 健康推進センター)
 柿沼 晴 (東京医科歯科大学大学院 疾患生理機能解析学)

- O5-1 iPS細胞技術と天然物骨格を改変する分子技術の融合による肝線維症創薬
 リード化合物の創製** 64
 石賀 健寛¹⁾、金子 信人¹⁾、高橋 紀人²⁾、宮島 篤³⁾、木戸 丈友³⁾、
 大栗 博毅¹⁾
 1) 東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻
 2) 東京農工大学 応用分子化学科
 3) 東京大学 定量生命科学研究所
- O5-2 肝星細胞の脱活性化にともなう細胞間クロストーク** 64
 柳川 享世、中尾 祥絵、小川 はる美、平山 令明、稲垣 豊
 東海大学大学院 医学研究科マトリックス医学生物学センター
- O5-3 抗肝線維化作用を有する新規リゾホスファチジルセリン誘導体の創製と
 作用機序検討** 65
 陳 露瑩^{1,2)}、木戸 丈友²⁾、宮島 篤²⁾、大和田 智彦¹⁾
 1) 東京大学 薬学系研究科
 2) 東京大学 定量生命科学研究所
- O5-4 FGF18は肝星細胞の増殖を誘導し肝線維化を引き起こす** 65
 土屋 勇一¹⁾、関 崇生²⁾、駒澤 幸子²⁾、七野 成之³⁾、福原 京子⁴⁾、
 池嶋 健一⁴⁾、田中 稔^{5,6)}、中野 裕康²⁾
 1) 東邦大学 薬学部生化学教室
 2) 東邦大学 医学部生化学講座生化学分野
 3) 東京理科大学研究推進機構生命医科学研究所 炎症・免疫難病制御部門
 4) 順天堂大学大学院医学系研究科 消化器内科学
 5) 国立国際医療研究センター研究所 細胞組織再生医学研究部
 6) 東京大学定量生命科学研究所 幹細胞制御研究分野
- O5-5 ヒトiPS細胞由来肝細胞及び肝星細胞による共培養オルガノイドの開発** . . 66
 持田 知洋¹⁾、三好 正人¹⁾、土屋 淳¹⁾、志水 太郎¹⁾、渡壁 慶也¹⁾、
 稲田 賢人¹⁾、金子 俊¹⁾、北畑 富貴子¹⁾、村川 美也子¹⁾、中川 美奈¹⁾、
 朝比奈 靖浩²⁾、岡本 隆一¹⁾、柿沼 晴³⁾
 1) 東京医科歯科大学 消化器内科
 2) 東京医科歯科大学 肝臓病態制御学
 3) 東京医科歯科大学 疾患生理機能解析学
- O5-6 肝線維化の動態解明に向けたin silicoモデルの開発** 66
 西川 昌輝¹⁾、吉澤 美沙¹⁾、田中 稔³⁾、杉本 昌弘²⁾、酒井 康行¹⁾
 1) 東京大学 大学院工学系研究科化学システム工学専攻
 2) 慶応義塾大学 政策・メディア研究科
 3) 国立国際医療研究センター その他部局等

O5-7	成体肝臓特異的Maip1 ノックアウトマウスにおける肝臓脂質蓄積および肝線維化の評価	67
	荒居 千遥 ¹⁾ 、酒井 英子 ^{1,2,3)} 、Taracena Marcos ²⁾ 、増田 有香 ²⁾ 、 菊池 太賀 ¹⁾ 、櫻井 文教 ^{1,2,3)} 、水口 裕之 ^{1,2,3,4,5)}	
	1) 大阪大学 薬学部薬学科	
	2) 大阪大学大学院 薬学研究科	
	3) 医薬基盤・健康・栄養研究所	
	4) 大阪大学国際医工情報センター	
	5) 大阪大学先導的学際研究機構	

10 : 15~11 : 55 **シンポジウム 2**

「創薬研究における肝細胞資源の現状と課題」

オーガナイザー：柿木 基治（エーザイ株式会社）
 座長：清川 順平（中外製薬株式会社）
 徳永 詢（旭化成ファーマ株式会社医薬研究センター安全性・動態研究部）

イントロダクション；創薬研究に肝細胞資源をいかに応用するか？

柿木 基治
 （エーザイ株式会社）

S2-1	ラット CLiPs 由来胆管とラット新鮮肝細胞の共培養による新規胆汁排泄評価系の構築	37
	小野里 太智 ¹⁾ 、和泉 沙希 ¹⁾ 、宮本 大輔 ²⁾ 、足立 智彦 ²⁾ 、山本 正枝 ¹⁾ 、 江口 晋 ²⁾	
	1) エーザイ株式会社 グローバル薬物動態研究部	
	2) 長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科	
S2-2	抗体医薬品における肝毒性研究と今後の展望	37
	荒木 徹朗 協和キリン株式会社 研究本部 研究ユニット 安全性研究所	
S2-3	創薬応用に向けた in vitro ヒト肝細胞培養モデルの構築	38
	川合 重人 中外製薬株式会社 医科学薬理部	
S2-4	創薬研究における MPS の現状	38
	奈良岡 準 アステラス製薬株式会社 非臨床バイオメディカルサイエンス	

12:05~13:05

ランチョンセミナー 2

「肝疾患のトータルマネジメント」

座長：名越 澄子 (埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科)

「C型肝炎撲滅に向けた最終課題 – management of patients with pre- and post-SVR –」

演者：川田 一仁 (浜松医科大学医学部附属病院 肝臓内科)

「脂肪性肝疾患の新展開」

演者：池嶋 健一 (順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学)

共催：アッヴィ合同会社

13:10~14:00

展望講演

「ヒト肝細胞の in vitro 系：凍結肝細胞と培養細胞からの考察」

座長：田中 稔 (国立国際医療研究センター細胞組織再生医学研究部)

演者：中村 和昭 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所生命科学研究部門薬剤治療研究部)

14:05~14:55

一般演題 6

「創薬と治療」

座長：寺井 崇二 (新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野)

吉成 浩一 (静岡県立大学薬学部)

O6-1 TAZ-TEAD2 経路に注目した肝細胞癌の進展の機序と治療戦略についての検討 68齋藤 義修^{1,2)}、疋田 隼人¹⁾、小玉 尚宏¹⁾、Robert Schwabe²⁾、竹原 徹郎¹⁾

1) 大阪大学大学院 医学系研究科 消化器内科学

2) Columbia University Department of Medicine

O6-2 肥厚性瘢痕・ケロイド治療のための HGF アプタマー徐放マイクロニードルの開発 68稲垣 奈都子¹⁾、Chen Menghe¹⁾、Dai Yizhou¹⁾、Tsai Ching-Cheng¹⁾、
大川 将志¹⁾、山東 信介¹⁾、朴 鍾湔²⁾、金 範竣²⁾、浅野 善英³⁾、
佐藤 伸一⁴⁾、岡崎 睦⁵⁾、伊藤 大知¹⁾

1) 東京大学 工学部

2) 東京大学 生産技術研究所

3) 東北大学 医学部附属病院皮膚科

4) 東京大学 医学部附属病院皮膚科

5) 東京大学 医学部附属病院形成外科

O6-3 Prevention of Postoperative Peritoneal Adhesion by Hepatocyte Growth Factor DNA Aptamer in Rat Cecum Abrasion Model 69DAI YIZHOU¹⁾、稲垣 奈都子^{1,2)}、植木 亮介¹⁾、山東 信介¹⁾、
長谷川 潔²⁾、伊藤 大知^{1,2)}

1) 東京大学 大学院工学部研究科

2) 東京大学 大学院医学部研究科

- O6-4 フェロトシスを介したパーキンソン病治療薬アポモルフィンの脂肪性肝炎抑制効果の検討** 69
三浦 光一、前田 浩史、Bat-Erdene Oyungargar、木村 未歩、
野口 瑛理、渡辺 昌子、山本 博徳
自治医科大学 消化器内科
- O6-5 SGLT2阻害薬 (Tofogliflozin) の門脈圧亢進症予防効果に対する検討** . . . 70
鍛冶 孝祐、浅田 翔平、西村 典久、吉治 仁志
奈良県立医科大学 消化器・代謝内科

15 : 00~17 : 00

シンポジウム3

「肝細胞培養系の最前線」

座長：水口 裕之 (大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野)
鈴木 淳史 (九州大学生体防御医学研究所器官発生再生学分野)

- S3-1 Ex vivoでの肝臓組織の再構築** 39
谷水 直樹、奥村 歩、青嶋 研治
東京大学 医科学研究所
- S3-2 胆汁の流れを再現可能なヒト肝胆オルガノイド培養系の確立と評価** 39
田中 稔
国立国際医療研究センター 細胞組織再生医学研究部
- S3-3 高機能なヒト肝臓オルガノイド培養系の開発とその応用** 40
植山 (鳥羽) 由希子^{1,2,3,4)}、全 嫣然^{1,3)}、今村 千春²⁾、渡邊 陽²⁾、
水口 裕之^{1,2,3,4,5)}
1) 大阪大学 大学院薬学研究科
2) 大阪大学 薬学部
3) 医薬基盤・健康・栄養研究所
4) 大阪大学 先導的学際研究機構
5) 大阪大学 国際医工情報センター
- S3-4 胆汁成分が回収可能な肝細胞培養系 icHep を用いた薬物胆汁排泄評価** . . . 40
荒川 大
金沢大学 医薬保健研究域薬学系
- S3-5 脱分化型肝細胞の腸上皮細胞への運命転換** 41
三浦 静、堀澤 健一、唐澤 皐月、鈴木 淳史
九州大学 生体防御医学研究所 器官発生再生学分野
- S3-6 高酸素透過膜を用いた肝細胞の好氣的呼吸・エネルギー代謝の再現** 41
酒井 康行、勝田 毅、西川 昌輝
東京大学 大学院工学系研究科化学システム工学専攻

17 : 00~17 : 15

表彰式・閉会の辞